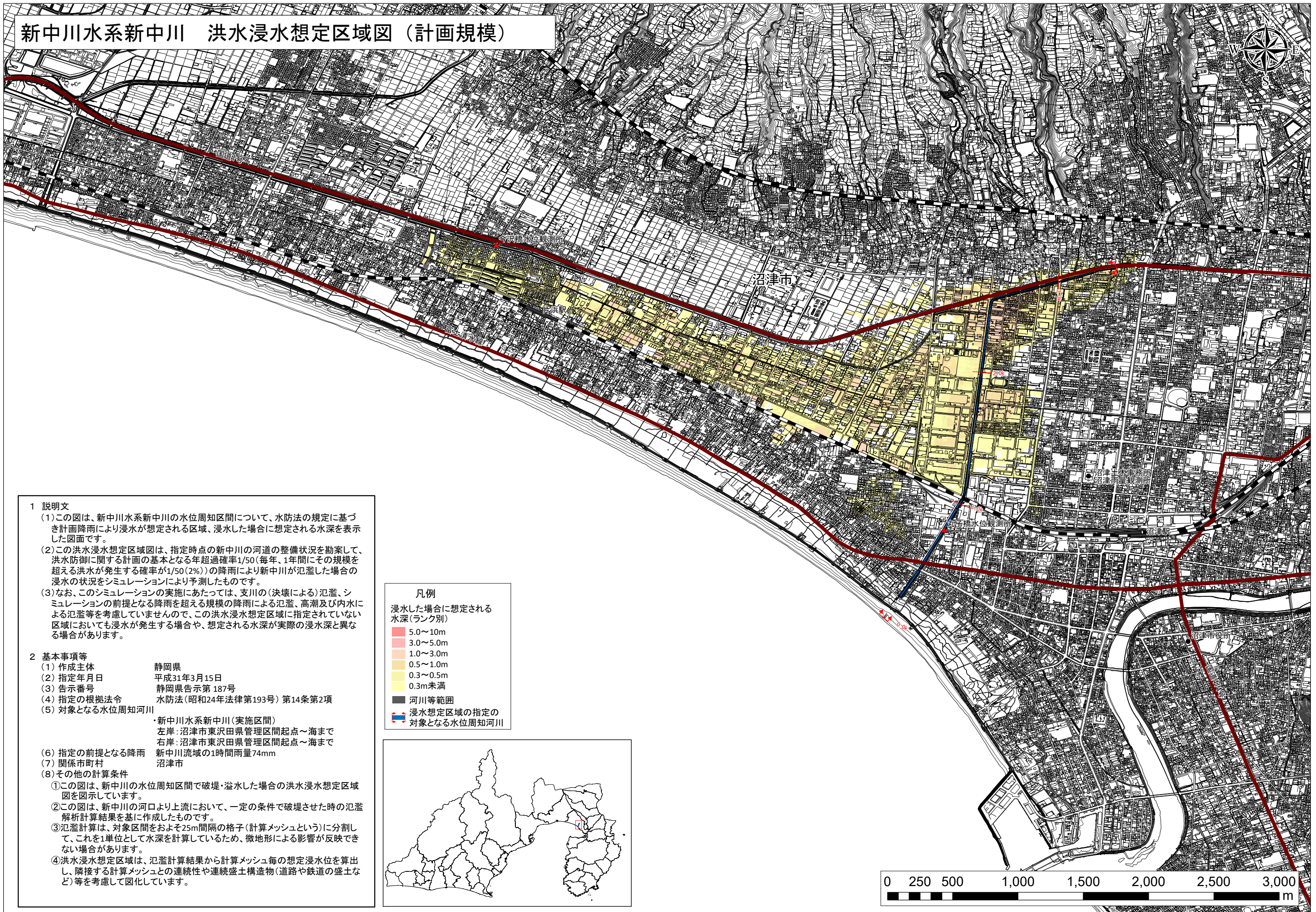


新中川水系新中川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



1 説明文

- (1)この図は、新中川水系新中川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2)この洪水浸水想定区域図は、指定時点の新中川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により新中川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 静岡県
- (2) 指定年月日 平成31年3月15日
- (3) 告示番号 静岡県告示第187号
- (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (5) 対象となる水位周知河川
・新中川水系新中川(実施区間)
左岸: 沼津市東沢田県管理区間起点～海まで
右岸: 沼津市東沢田県管理区間起点～海まで
- (6) 指定の前提となる降雨 新中川流域の1時間雨量74mm
- (7) 関係市町村 沼津市
- (8) その他の計算条件

- ①この図は、新中川の水位周知区間で破堤・溢水した場合の洪水浸水想定区域図を図示しています。
- ②この図は、新中川の河口より上流において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
- ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
5.0~10m	3.0~5.0m
1.0~3.0m	0.5~1.0m
0.3~0.5m	0.3m未満
河川等範囲	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

